

# 明治美術学会 会員業績録

(2006年4月1日～2007年3月31日)

この夏、会員に対し2006年4月1日～2007年3月31日の間に発表した主要論文等3点以内の報告を依頼した。以下がそのリストである。  
なお、よせられたもののうち上記期間以前の業績については、記載したが、以後のものは省いた。リストの作成は喜多孝臣がおこなった。

名前	共著者	論文名／書名	掲載誌／掲載書	発行	巻号	刊行年月
青木茂		新・旧刊案内	「一寸」	書痴同人	26～29号	2006年5月、 8月、10月、 2007年1月
青木茂		『書痴、戦時下の美術書を読む』		平凡社		2006年8月
青木茂		『展覧会評—森鷗外と美術』	『美術研究』	東京文化財研究所	391号	2007年3月
荒井経		日本画の画材と“自由”	『美術手帖』	美術出版社	886号	2006年9月
荒井経	柏木聖子・ 越智波留香	岩絵具の新表現—横山大観『山路』 (京都国立近代美術館蔵)の調査報告	『東京学芸大学紀要芸術・ スポーツ科学系』	東京学芸大学	58集	2006年10月
池田博子 (横山大観記念館)		大観の東南アジアに取材した作品について	『館報』	財団法人横山大観 記念館	22号	2006年7月
石井元章		長沼守敬の中の「イタリア」	『長沼守敬とその時代展』 図録	長沼守敬とその時代 展実行委員会		2006年7月
石井元章		記念碑に込めたヴェネツィアの思い出—長 沼守敬作『毛利家群像』についての一考察	『芸術文化研究』	大阪芸術大学大学院	11号	2007年3月
稲賀繁美		Is Art History Globalizable?	<i>Is Art History Global ?</i> James Elkinns (ed.)	Routledge		2007年
稲賀繁美		Use and Abuse of Images in Japanese History Textbooks and the History Textbook controversy of 2000-2001	<i>Historical Consciousness, Histrogra- phy, and Modern Japanese Values</i> James Baxter (ed.)	International Research Center for Japanese Studies		2006年9月
稲賀繁美		Images changeantes de l'art japonais: Depuis la vue impressionniste du Japon à la controverse de l'esthétique orientale (1860-1940)	<i>JTLA (Journal of the Faculty of Letters, The University of Tokyo, Aesthetics)</i>	Faculty of letters, The university of Tokyo	29/30号	2005年3月
今橋映子		『ブラッサイバリの越境者』		白水社		2007年3月
岩切信一郎		画家小林萬吾と歌誌「心の華」	「一寸」	書痴同人	28号	2006年10月
岩切信一郎		鎌木清方と春陽堂の『新小説』	『鳥合會と『新小説』の時代』	鎌倉市鎌木清方 記念美術館	鎌木清方 記念美術 館叢書 8	2006年12月
岩切信一郎		渡邊新板画の形成—研究・復刻・創作事業 について—	『浮世絵芸術』	国際浮世絵学会	153号	2007年1月
植田彩芳子		横山大観筆(聴法)制作背景としての「エクス プレッション」—画中人物の感情表現をめぐ って—	『美学』	美学会	57巻1号	2006年6月
植田彩芳子		国立新美術館および「日展—〇〇年展」に ついて	『LOTUS』	日本フェノロサ学会	27号	2007年3月
植野健造		坂本繁二郎—生涯と芸術—	『石橋美術館開館50周年 記念坂本繁二郎展』図録	石橋財団石橋美術 館、石橋財団プリヂ ストン美術館		2006年4月
植野健造		洋画と彫刻 (第四章第二節第二項)	『柳川文化資料集 第三 集 柳川の美術Ⅱ』	柳川市		2007年3月
植野健造		日本近代美術史研究と新聞記事資料	『アート・ドキュメンテー ション研究』	アート・ドキュメン テーション学会	14号	2007年3月
後小路雅弘		帝国大学のパブリックアート—青山熊治「九 州大学工学部壁画」	『美術研究』	東京文化財研究所	389号	2006年6月
江川佳秀		日本人にとってのエコール・ド・パリ	『巴里憧憬エコール・ド・パ リと日本の画家たち展』図録	美術館連絡協議会		2006年7月
江川佳秀		長谷川利行初期文獻「みづゑ」『講談雑誌』 「吾妹」	『徳島県立近代美術館紀要』	徳島県立近代美術 館	9号	2007年3月
及川茂	R. Buckland, T. Clark	<i>A Japanese Menagerie-Animal Pictures by Kawanabe Kyosai</i>		The British Museum Press		2006年10月
及川茂		暁斎の滑稽な化物たち	『〈対話と深化〉の次世代女性 リーダーの育成』	お茶の水女子大人間 文化研究科		2006年10月
及川茂		Le Livre illustré dans la seconde moitié du XIX e siècle (Kyosai)	<i>Du pinceau à la typographie</i> (marguet 他編)	Ecole Française d'Extrême Orient		2007年1月

大谷省吾		大正期の自画像の“背景”について	『モダン・パラダイス展』図録	東京国立近代美術館ほか		2006年8月
大谷省吾		シュルレアリスムと行動主義—小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に	『近代画説』	明治美術学会	15号	2006年12月
大谷省吾		鏡光、その眼の向かうところ	『生誕100年 鏡光展』図録	東京国立近代美術館ほか		2007年3月
大谷芳久		《城沼の冬》—藤牧版画の後摺りについて13	『一寸』	書痴同人	27号	2006年8月
大谷芳久		《夜の浅草六區》—藤牧版画の後摺りについて14	『一寸』	書痴同人	28号	2006年10月
大谷芳久		《出を待つ永井智子(マルグレット)》—藤牧版画の後摺りについて15	『一寸』	書痴同人	29号	2007年1月
大槻晃実		洋画家 櫻井忠剛	『図説 尼崎の歴史』	尼崎市立地域研究史料館	下巻	2007年1月
大坪潤子	吉崎雅親	『港区人物誌 三 高橋是清』		港区教育委員会		2007年3月
岡戸敏幸		竹の肖像—大窪詩佛「画竹碑」について—	『美術史研究』	早稲田大学美術史学会	44冊	2006年12月
岡本隆志		明治の彫金—海野勝珉とその周辺	『明治の彫金—海野勝珉とその周辺』展図録	宮内庁		2006年9月
岡本隆志		三代清風與平について(二)	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	12号	2007年3月
五十殿利治		大正期新興美術運動の概要と研究史	『大正期新興美術資料集成』	国書刊行会		2006年12月
五十殿利治		第二回未来派美術協会展(一九二一年開催)と詩人たち	『ユリイカ』	青土社	38巻11号	2006年9月
五十殿利治		視覚文化研究の先駆者・板垣鷹穂	『彷徨月刊』	彷徨舎	23巻3号	2007年3月
片平幸(真鍋幸)		庭園をめぐる「わび」「さび」「幽玄」—1930年代における「幽玄」を中心に	『わび・さび・幽玄—「日本的なるもの」への道程』	水声社		2006年9月
片平幸(真鍋幸)		欧米における日本庭園像の形成と原田治郎のThe Gardens of Japan	『日本研究』	国際日本文化研究センター	34集	2007年3月
亀井志乃		『人生を奏でる二組のデュオ—有島武郎と木田金次郎 里見淳と中戸川吉二—』展図録		北海道立文学館		2007年2月
川喜一穂		天心岡倉覚三の美術史「研究」—「古画備考」を中心に—	『大阪芸術大学短期大学部紀要』		31号	2007年3月
喜寿孝臣		プロレタリア美術運動と造型美術家協会	『近代画説』	明治美術学会	15号	2006年12月
木下直之		『わたしの城下町』		筑摩書房		2007年3月
木下直之		建築家と記念碑	『シリーズ都市・建築・歴史』	東京大学出版会	8巻	2006年4月
金原宏行		ワイエスの絵画・序論	『アンドリュウ・ワイエス水彩素描展』図録	常葉美術館		2006年10月
金原宏行		福田半香の人と芸術	『福田半香展』図録	田原市博物館		2006年10月
桑原規子		恩地孝四郎の《「氷島」の著者・萩原朔太郎像》をめぐって—占領期における欧米人コレクターと創作版画の国際的評価	『藝叢』	筑波大学大学院人間総合科学研究科研究室	23号	2007年3月
桑原規子		新興美術家協会の成立と消滅1935-1943—玉村善之助、恩地孝四郎、小野忠重、伊藤蕪朔の周辺—	『聖徳大学言語文化研究所論叢』	聖徳大学	14号	2007年2月
桑原規子	(共著)	『世界に誇れる日本の芸術家555』		PHP 研究所		2007年3月
河野元昭		光琳と乾山 山根有三先生の墓前に捧ぐ	『美術史家、大いに笑う—河野元昭先生のための日本美術史論集』	ブリュッケ		2006年4月
河野元昭	(共著)	『ザ プライス コレクション』		小学館		2006年9月
河野元昭		高橋由一 貝図	『國華』	國華社	1334号	2006年12月
児島薫		藤島武二の(東洋)	『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』	東京文化財研究所		2006年3月
児島薫		藤島武二における(西洋)と(東洋)	『美術史家、大いに笑う—河野元昭先生のための日本美術史論集』	ブリュッケ		2006年4月
五味美里		絵画の章	『Liberty』	美研インターナショナル		2006年6月
五味美里		大川先生の思い出	『木心彫舎大川暎—回想』	三好企画		2006年11月
齊藤祐子		『構造社』研究—商業美術と「構造社」—	『藝叢』	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室	23号	2007年3月

佐伯英里子		総論	『名画動物園』	勉強出版社		2006年10月
佐伯英里子		個人所蔵「三十番神絵像」小考	『佛教芸術』	毎日新聞社	288号	2006年9月
酒井忠康		『画家の日記』		余市豆本の会		2007年2月
迫内祐司		斎藤松洲	『彷彿月刊』	彷彿舎	248号	2006年6月
迫内祐司		『美術』の統制—日本美術報国会とその周辺	『文星芸術大学大学院研究科論集』	文星芸術大学芸術理論研究室	1号	2006年6月
佐々木央		近代(焼絵)補遺(4)	『日本の民芸』	財団法人日本工芸館	601号	2006年4月
佐々木央		近代(焼絵)補遺(5)・(6)	『日本の民芸』	財団法人日本工芸館	604・605号	2006年10・12月
佐々木央		近代(焼絵)補遺(7)	『日本の民芸』	財団法人日本工芸館	606号	2007年2月
佐藤志乃 (横山大観記念館)		ベンガル派によるウォッシュの試み—大観・春草との交流の一側面—	『館報』	財団法人横山大観記念館	22号	2006年7月
佐藤道信		『美術のアイデンティティ—誰のために、何のために』		吉川弘文館		2007年3月
佐藤道信		神韻の燦光	画集『手塚雄二作品集 夜想』	小学館		2006年5月
澤田佳三		目的芸術としての戦争美術とプロレタリア美術—「昭和の美術」展を通して	『国際シンポジウム戦争と表象／美術20世紀以後記録集』(長田謙一編)	美学出版		2007年2月
澤田佳三		空虚な変更—戦争記録画・石井柏亭作「軍艦出雲」と下絵との比較から	『新潟県立万代島美術館研究紀要』	新潟県立万代島美術館	2号	2007年3月
塩谷純		団十郎の“腹芸”、雅邦の“心持”	『美術史家、大いに笑う—河野元昭先生のための日本美術史論集』	ブリュッケ		2006年4月
重村幹夫		コラージュによる絵画表現についての考察—教育上の意義を中心に—	『大学美術教育学会誌』	大学美術教育学会	39号	2007年3月
清水恵美子		岡倉覚三とボストン—ガードナー美術館の「中国室」を中心とした調査研究—	『鹿島美術研究』	鹿島美術財団	23号別冊	2006年11月
清水恵美子		岡倉覚三とボストン—ボストン美術館中国日本美術部経営に関する研究—	『魅力ある大学院教育』イニシアティブ活動報告書	お茶の水女子大学	海外研修事業編	2006年9月
清水恵美子		岡倉覚三のオペラ台本—内在する歌舞伎とヴァーグナー	『比較文学』	日本比較文学会	49号	2007年3月
清水重教		松室重光と古社寺保存	『日本建築学会計画系論文集』		613号	2007年3月
清水重教	(共著)	『復元思想の社会史』(鈴木博之編)		建築資料研究社		2006年6月
春原史寛		清水登之日記の研究—15年戦争期を中心に	『鹿島美術研究』	財団法人鹿島美術財団	23号別冊	2006年11月
高尾曜		蒔絵盃	『柳川の美術Ⅱ』	柳川市教育委員会		2007年3月
高尾曜		柳川藩立花家伝来の印籠と御用蒔絵師	『柳川の美術Ⅱ』	柳川市教育委員会		2007年3月
高木博志		『近代天皇制と古都』		岩波書店		2006年7月
高階絵里加		須田剋太の『縄文記号』をめぐる	『美術史家、大いに笑う—河野元昭先生のための日本美術史論集』	ブリュッケ		2006年4月
高階絵里加		『フランスから来た「日本」—『蜻蛉集』挿絵について』	『日仏交感の近代』(宇佐美斉編)	京都大学学術出版会		2006年5月
高島由紀		『画家の疎開—藤野町における藤田朗治と新制作派協会の画家たち—』	『美術史研究』	早稲田大学美術史学会	44冊	2006年12月
瀧井直子		藤雅三の墓	『近代画説』		15号	2006年12月
滝沢恭司	五十殿利治ほか	『大正期新興美術資料集成』		国書刊行会		2006年12月
滝沢恭司		ミクロネシアの誘い—1934年、染木煦の南洋群島行	『アジア地域における版画文化と版画教育の現状』	武蔵野美術大学版画研究室		2007年3月
滝沢恭司		河田煦と大正期新興美術運動	『町田市立国際版画美術館紀要』	町田市立国際版画美術館	11号	2007年3月
竹山博彦		彫刻の鈴木賢二—戦時下の活動とその後	『鈴木賢二作品集 時代を彫刻む』	鈴木賢二版画館如輪房		2007年1月
立花義彰		静岡近代美術年表稿明治編(下)	『静岡県博物館協会研究紀要』	静岡県博物館協会	30号	2007年3月
立花義彰		静岡近代美術年表稿大正編	『静岡県博物館協会研究紀要』	静岡県博物館協会	29号	2006年3月